

あとがき

すでに本文中でも述べたように、私は社長退任後、自分のほとんどの時間を、縁あって知り合った中小企業の社長さん達の意識改革に費やしてきた。大企業ならいざ知らず、零細中小企業にとってはトップに立つ経営者の能力と器量が会社の方向性に及ぼす影響力はほぼ一〇〇%に近いものがある。原理原則から外れていけば、その下にどんな優秀な社員がいようと、その努力は無に帰し、両者とも不幸だからである。

そんな想いをこめて高木塾や豊友会をはじめ、はや15年近くたった。その間、私自身もさまざまな経営者から教えられもした。15年前の私より、現在の私の方が経験の中から得た知恵や学問で論理整合性も高まり、分かりやすくなつたとよく言われる。

大企業向けに書かれた企業論、戦略論、組織論は書店に行けば山ほど積んであるが、中小零細向けの全体を俯瞰したこの本のようなものはあまり多くはないように思う。豊友会の諸君と学んだこの15年間の成果をこうしてまとめることも、また私なりの社会へのお返しとも考え、すすめられるままに上梓することを決めた。すつきりした理論的な経営書にはなっていないかもしれないが、その反面、多くの事例を挿入し、現場で苦闘する経営者の汗と匂いが行間から立ち昇ってくるような、極めて具体的な、そして実践的な本になったのではと自負している。

毎週毎週の指針書作成の場合や中期三ヶ年計画づくりの合宿に、多くの社長さん達から、さまざまな資料が持ち込まれた結果、すべての参考資料を巻末に上げ得ない事態となつてしまった。ひよっとして原著者の方々に御迷惑をおかけしているのではと気がかりではあるが、勉強の場で大いに活用させていただいたことと併せ、御容赦いただけたらと思う。

またこの本作りに際しては、豊友会や、私の知人友人に大いにお世話になった。私の生きざまを見続け、

共に歩んでくれた志を同じくする人々の手によって、この本が出来上がることは私の何よりの喜びである。なぜなら私一人では、このような形にまとめ上げられなかったであろうと思うからだ。生々しい事例をいわずに提供してくれた社長さん達、連休をつぶして原稿整理を手伝ってくれた会員の皆さん、なかならず、第二部の外部戦略編、内部戦略編、財務戦略編のほぼ完璧な下書きを仕上げてくれた飯田陸三氏、杉山交世氏、田麿晃三氏、上野宏氏、自社の仕事を犠牲にしてまで、私の不得意なコンピュータ技術を駆使して編集作業に奮闘してくれた小池淳一氏、事例を書き上げて下さった多くの方々、また素人の文章の不備を訂正し、読み易くしてくれた吉田浩氏、出版に際してご助言いただいた石野誠一氏には特別の感謝を表したい。多くの困難な状況をまとめ上げてくれた東海豊友会の長谷川幹事長のほか、全国豊友会事務局長大木光章氏、池田礼子氏にも気配り心配りをいただいた。また出版に際して心よく賛助金を拠出していただいた全国の豊友会のメンバーみなさんには、感謝以外言葉もない。

二〇〇二年六月一日 寓居にて

全国豊友会会長 高木 利美

《参考文献》

- | | | | |
|-------------|------|----|---------|
| 人間学のすすめ | 安岡 | 正篤 | 福村出版 |
| 三国志と人間学 | 安岡 | 正篤 | 福村出版 |
| 偉大なる対話 | 安岡 | 正篤 | 福村出版 |
| 知命と立命 | 安岡 | 正篤 | プレジデント社 |
| 運命を開く | 安岡 | 正篤 | プレジデント社 |
| 活眼活学 | 安岡 | 正篤 | PHP文庫 |
| 先哲講座 | 安岡 | 正篤 | 竹井出版 |
| 経営五輪の書 | 船井 | 幸雄 | PHP研究所 |
| 私の歎異抄 | 紀野 | 一義 | 筑摩書房 |
| 城野宏の教え | 清水 | 英雄 | 総合法令 |
| 思想のある経営 | 西順一郎 | | ソーテック社 |
| 仏教による経営革新 | 吉武孝祐 | | ソーテック社 |
| 仏教に学ぶ経営の秘訣 | 坂本力信 | | ソーテック社 |
| 小さな会社の経営学 | 小林正博 | | PHP研究所 |
| 小さな会社の社長学 | 小林正博 | | PHP研究所 |
| 小さな会社の成長学 | 小林正博 | | PHP研究所 |
| 企業経営を成功せるには | 浅野喜起 | | 有斐閣ビジネス |

豊友会のあゆみ

この豊友会は、高木会長が52歳で麻益(株)の社長を後継者に譲り、会長になられてから「今まで、会社経営を通して体験したこと、学んだことを少しでも社会のお役に立てれば」「社長がしっかりしないと社員さんがかわいそう」という思いから、以前から活躍してみえた愛知同友会の経営部会の部長として各地区の指導に活発に活動してみえました。しかし同友会の中の活動には、色々と制約もあり自分の思い通りの活動がしにくいことから、同友会を離れて独自で高木経営研究会を設立し、経営指針書の作成を通して中小企業の社長育成にまい進してこられました。その結果、東海はもとより、岡山、香川、新潟、と各地区に指導を仰ぐ経営者がどんどん集まり、会員が増え、毎回、毎回、レジメのプリントも大変となり、会員の人達のテキストとして、又自分の今までの集大成として一冊の本にまとめようということから1992年(H4年)「経営は人生のお祭だ、あんたが主役」という本を自費出版されました。

丁度この時、今までは、高木会長個人の経営塾でしたが、皆さんが勉強する会だから会員が主体となって運営する会にしようという考えから、名前も「豊友経営研究会」と改め再スタートしました。

この豊友会は、スタートから一貫して「立派な経営者になろう」「立派な会社になろう」を基本理念として、「会社は、社長の器以上に大きくならない」「会社経営は、人間学、どのように生き、死ぬかである」「会社は、細く、長く、白く、次代に繋ぐ、決して枯らしてはいけない」等々の考え方で、高木会長を師匠として、指針書の作成を通して、自分達の生きる道を見つけ、社長がめざめ、変わり、社員さんと一体となり作動させ、立派な会社につくりかえることを目指して勉強しています。現在は、東海、岡山、香川、新潟、京都(丹後)、東京に支部が有り、会員200余名の会になりました。

活動内容としては、①指針書作成分科会、②中期3カ年経営計画作成分科会③給与体系作成分科会、④年2〜3回全国指針書チェックの会等の活動を展開しています。

1991・10	(H 3)	第1回全国指針書チエックの会	名古屋	味道園
1992・3	(H 4)	「経営は人生のお祭だ、あんたが主役」出版記念パーティー	名古屋	観光ホテル
1992・4		第2回全国指針書チエックの会	岡山	
1992・10		第3回全国指針書チエックの会	名古屋	サンプラザ
1993・2	(H 5)	第4回全国指針書チエックの会	名古屋	刈谷
1993・6		第5回全国指針書チエックの会	新潟	ホテルニユ大清
1993・11		東京豊友会発足		
1994・3	(H 6)	第6回全国指針書チエックの会	名古屋	碧南水上スポーツセンター
1994・6		第7回全国指針書チエックの会	香川	アイランドホテル本島
1994・11		第8回全国指針書チエックの会	名古屋	N T T東海セミナー
1995・6	(H 7)	第9回全国指針書チエックの会	名古屋	クラウンホテル
1995・11		第10回全国指針書チエックの会	名古屋	ホテルオースプラザ
1995・12		会長ありがとう講演会	名古屋	愛知県労働者研修センター
1996・6	(H 8)	第11回全国指針書チエックの会	名古屋	第二不二パークホテル
1996・11		第12回全国指針書チエックの会	東京	ホテル浦島
1997・6	(H 9)	第13回全国指針書チエックの会	名古屋	第二不二パークホテル
1997・11		第14回全国指針書チエックの会	京都(丹後)	
1998・6	(H 10)	第15回全国指針書チエックの会	名古屋	邦和セミナープラザ
1998・11		第16回全国指針書チエックの会	岡山	カルチャーホテル
1999・6	(H 11)	第17回全国指針書チエックの会	名古屋	邦和セミナープラザ
1999・11		第18回全国指針書チエックの会	名古屋	邦和セミナープラザ

2001・11
2001・6
2001・2
2000・10
2000・7
2000・6
(H13)
(H12)

第19回全国指針書チエツクの会
第20回全国指針書チエツクの会
第21回全国指針書チエツクの会
第22回全国指針書チエツクの会
第23回全国指針書チエツクの会
第24回全国指針書チエツクの会

名古屋 邦和セミナープラザ
和歌山 和歌山地場産業振興センター
香川 四国電力(株) 総合研究所
東京 NTT麻布セミナーハウス
名古屋 邦和セミナープラザ
岡山 岡山国際ホテル